

全校音楽～元気ハツラツな2・3年生の発表

28日(木)の2校時に全校音楽を行いました。今回は、2・3年生の発表がありました。歌、鍵盤ハーモニカ、リコーダーなどを交え、2・3年生10人の演奏、2年生3人による演奏、3年生7人による演奏など、工夫いっぱいの演奏が繰り広げられました。少人数でも、一人一人が役割意識をもって、「しっかりと声を出す」「しっかりと音を響かせる」ということが、中川っ子たちのいいところです。今回も、元気ハツラツで楽しそうな演奏が、フロアの子どもたちの心を引き付けました。「大きな声ではきはきと歌っていたのでよかった。」「声が出ていて、ピッタリと合っていた。」「いろんな国のあいさつが入っていて、楽しかった。」「リコーダーの指づかいがきれいだった。」「楽器と声が合っていた。」など、多くの感想が寄せられました。発表した2・3年生も、たっぷり充実感を味わえた様子でした。

次回は、夏休み明け8月31日(金)の2校時、「いつだって！」をダンスをしながら歌う予定です。ご都合のつく方は、ぜひ見にいらしてください。「三省まつり」でも発表しますが、演目が完成するまでどのような経過をたどるのかなど、演目完成までの「ビフォー・アフター」がご覧いただけます。



口座振替3回目です 準備をお忘れなく！

7月2日(月)が学校納金口座振替の第3回引き落とし日です。「ついうっかり残高不足で…」というケースがあるようです。3回目が迫ってきましたので、どうか通帳を確認の上、早めの準備をお願いします。今回、4・5年生は保呂羽山宿泊体験学習の経費3,300円もいっしょに引き落としされることとなります。なお、振替手数料が、お子様1人につき1回につき10円かかります。申し訳ありませんがその分も入金くださるよう合わせてお願いします。

全校集会～「将来の夢」について発表しました！

28日（木）の中休みに全校集会を行いました。今回は、「中川小の良いところって何だろう？」ということについて、みんなで考えた後で、4人の人に「将来の夢」について発表してもらいました。「中川小の良いところ」について、子どもたちからは、「全校が仲が良い」「自然がいっぱい」「長い歴史がある（創立143周年）」などの意見が出されました。25日（月）にお願いした宿題でしたが、みんな一生懸命に考えてきてくれていて、みんなで「なるほどな！」と納得したところでした。そして、「中川小の良いところ」について、次の4点についてみんなで確認しました。

- ①全校のみんなが仲よし ⇒ みんながまとまって行動できる。
- ②一人一人に出番がある ⇒ 「しっかりやるぞ！」という責任感がある。
- ③「やり直し」ができる ⇒ あきらめずに、ねばり強くがんばる心が育つ。
- ④あたたかい中川のみなさん ⇒ 「ささえられている」という安心感がある。



次に、4人のみなさんに「将来の夢」を3つの文で紹介してもらいました。



フロアの子どもたちが見つけた共通点は「信頼感、誰かのためになる、自分以外の人とのかかわり」でした。

わたしのゆめは、みんなをくらしやすくする大工さんになることです。わたしのお父さんとおじいちゃんは大工さんで、小さいときから見てきて、かっこいいなあと思っています。お父さんが、「女の大工さんは、あまりいないよ。」と言っていたので、わたしは大工さんになりたいなあと思いました。 3年 I. さん

ぼくの夢は、いろいろな人に役立つものを作る発明家になることです。お母さんがいつもやっている家事を自分でやってみたら、思ったよりも大変だということが分かり、もっと楽をさせたいなあと思いました。ぼくは、将来、発明家になって、みんなが苦労しない世界を作りたいです。 6年 T. さん

わたしのゆめは、みんなをうれしくさせるネコカフェの店員さんになることです。わたしは、生まれたときからネコの「だい」といっしょにすごしてきました。その「だい」は、3月になくなってしまいました。わたしは、ネコがすきなので、ネコがすきな人にいっぱい見てもらって、いっぱい来てもらいたいです。 3年 A. さん

ぼくの夢は、ドラフト1位でプロ野球選手になり、二遊間どっちも守れて、ヒット性の当たりをアウトにする内野手になりたいです。ぼくは、広島カープの菊地涼介選手や楽天イーグルスの茂木栄五朗選手のショートやセカンドのプレイがかっこいいなあと思います。ぼくは、将来、プロ野球選手になって、野球をやっている子どもや応援してくれる人を勇気づけたいです。 6年 O. さん

今後も、子どもたちが「中川小の良いところ」を感じながら「よりよい学校生活づくり」に取り組む、「将来の夢や目標」に向かっていくことができるように働きかけていきたいと思います。

声かけ事案発生～「おや？」と思ったら学校へ連絡を！

6月25日（月）の午後3時頃、安久戸交差点（ニコニコ米の田んぼ）付近で、2人の子どもが続けざまに、自転車に乗った知らないご老人（男性）に声をかけられるという事案が起きました。「若神子に行く道を教えて。」と道を尋ねられたとのことですが、「おかしいな」と感じたということで、学校へ連絡があり、仙北警察署の生活安全課の方に「聞き取り」をしていただきました。今回の件では、「不審者」と断定はできないとのことでしたが、次の3点について指導するように助言をいただきましたので、今朝、全校児童を集めて指導しました。今回の件以外のことでも、ご家庭で何かお気付きのことがありましたら学校へお知らせください。お願いします。

- ①道を尋ねられたり、話しかけられたりしたときに、少しでも「こわいな。おかしいな。」と感じたら「すみません。大人の人に聞いてください。」と言ってその場を離れること。（近くに大人がいたら助けを求める）
- ②絶対についていけないこと。
- ③「この人かな？怪しいな。」と感じる人に会ったら、すぐにお家の人と学校（先生）に知らせること。（学校から、すぐに仙北警察署に通報します。）